

益々組合員福祉の爲め貢献する處大なること、信ずる。
 尙組織運動に於ては、泉南出張所主任元阪順次君は九州聯合會の懇望により、九州地方の組織に活躍することとなり、その後任には大阪聯合會の種田徹摩君之に當り、東洋製綱、關西製綱はもとより同地方の運動に最大の努力を拂ひつゝある。一方關東方面に於ては東京市千住所在帝國製綱株式會社に組織なり千住分會の成立を見た。
 現在組合員數は男一千六百六名、女三百九十二名、合計千九百九十八名に達し二百八十七名の増加を見るに至つた。

一方我が總同盟は全國労働との合同を完了して、その陣營の擴大強化を見ると同時に、今春來の選挙戦に於ける社大黨の躍進等、我等の過去の苦闘漸くにして報はるゝの感があるのであつて誠に悦びに堪えぬ所である。

然も國の内外共に頗る多事多端にして、スペインの内亂は歐洲に於ける思想的抗争の大なるものとして見られ、露滿國境に於ける紛争支那各地に於ける執拗なる抗日毎日による日支間の事態の急迫等、誠にもつて世の中が、如何なる所に落着くものか全く豫斷を許さぬ状態を呈して居るのである。

然しながら我々は如何なる状態、如何なる場面の展開を見ようとも、我々に課せられたる任務、健全なる労働組合員たること、即ち身心共に健全なる労働者たり、國民であらねばならぬのであつて、「この秋は雨か嵐か知らねども今日の勉に田草とるらん」この心構へをもつて其の日々の任務を忠實に果して行く事を最も大切なりと信ずるものである。

希ば過去十年の實績に鑑み、光輝ある製綱労働組合が將來益々伸張發展すべく、協心戮力その目的達成の爲め、一層精進せられん事を切望する次第である。

第八回大會

日時 昭和九年十月二日 午後一時
 場所 製綱労働會館 (川崎)
 出席代議員

- (川崎支部) 猪野 吾一、谷川甲子松、中村 宗吉、毛利 政磨、只野 惣吉、星 留義、並木 新作、大久保 操、星 政次、熊木信一郎、根本 福松、新井 照、齋藤 治夫、山口 惣吉、菅谷 有、鈴木 彌作、小林藤太郎、中西安太郎
- (小倉支部) 勝野 滿、川口 定生、津々見重雄、徳田 吉松、森岡 民三、福井 春次
- (兵庫支部) 上垣 彌一、平井 増吉
- (泉南支部) 元阪 順次
- (本部) 三木 治朗、藤井 秀治、齋藤 勇
- 一、總同盟歌合唱
- 一、開會之辭 三木 治朗
- 一、代議員歡迎之辭 (川崎) 只野 惣吉

- 一、右 答 辭 (小倉) 徳田 吉松
- 一、書記 任命 齋藤 勇 今村 榮次郎
- 一、各種委員任命 熊谷 勇
- 資格審査委員 (〇) 印委員長) 齋藤 勇
- 規約委員 (〇) 徳田 吉松 上垣 彌一
- 毛利 政磨
- 議事委員 (〇) 猪野 吾一 森岡 民三
- 元阪 順次
- 決算委員 (〇) 川口 定生 星 留義
- 星 政次
- 豫算委員 (〇) 平井 増吉 並木 新作
- 勝野 滿
- 役員除衡委員 (〇) 新井 照 上垣 彌一
- 津々見重雄
- 一、正副議長選舉
- 議長 三木 治朗 副議長 鈴木 彌作
- 議長 挨拶
- 一、祝電
- 兵庫支部、大阪聯合會、紡織保土谷支部、松岡總同盟會長
- 一、祝 辭
- 神奈川聯合會 近藤 武男
- 關東同盟 池 善次